

ともだちは、レックス。



REX

恐竜物語

監督/角川春樹 製作/角川春樹 奥山和由 原作/畑 正憲 (「恐竜物語」角川文庫版)

脚本/丸山昇一 角川春樹 ダイアログライター/内館牧子

主題歌/米米CLUB(ソニーレコード) 音楽監督/朝川朋之 恐竜製作/カルロ・ランバルディ

キャスト/安達祐実 REX 大竹しのぶ 渡瀬恒彦 伊武雅刀 山崎裕太 常田富士男 平田満 草笛光子

製作/「REX」製作委員会 配給/松竹株式会社

この夏——日本中に“愛”と“感動”を贈ります

解説

もしも現代に恐竜が現れたら？それも可愛らしい赤ちゃん恐竜だったら？そしてその恐竜と友達になれたら？そんな夢を叶えてくれるのが「REX・恐竜物語」である。

水に包まれた洞窟の中で発見された卵。古生物学者の立野博士は現代に恐竜を蘇らせようと考え、離婚した妻で発生学の第一人者・直美に協力を依頼し、恐竜の孵化に挑戦する。一方、自閉症気味の娘・千恵は父に構ってもらえず、その上再会した母はイメージと全然違うヘンな女の人だったのか面白くない。名誉欲の強い助手の大助や国家権力など、様々な思惑が入り交じる中、ついに卵が割れ始める。息を呑む一同。中から飛び出したのは可愛らしい恐竜の赤ちゃんだった。千恵は早速恐竜をレックスと名付け、すっかり母親気分である。一方レックスも不思議な能力を持つ千恵の言うことしか聞かない。友達のいない千恵はレックスの面倒を見ていくうちに、少しずつ変化を見せていく。そして立野と直美の関係にも微妙な変化が起こっていく。しかし、平穏な日々の陰で、大きな陰謀が蠢いていることを知る者はなかった……。

最も期待されるのは赤ちゃん恐竜・レックスだ。撮影のため、500万ドルの巨費を投じ、生物の持つ暖かさリアルな動きを備えたロボット・レックスが製作された。ゴジラやティラノサウルスみたいに凶暴さは全くなく、誰にでも愛される可愛らしいキャラクターの活躍に大人から子供までその魅力の虜になることは間違いない。このレックスと千恵の心の触れ合いがやがて美しい奇跡を引き起こし、観客を素晴らしい感動の世界へと誘うのだ。

立野博士を演じるのは角川映画でお馴染みの名優・渡瀬恒彦。「天と地と」でも見せた重厚な演技は記憶に新しい。その離婚した妻・直美役には大竹しのぶ。こちらも「死んでもいい」「復活の朝」等で新境地を開拓した実力派。角川映画は「麻雀放浪記」以来の出演。千恵役には「具が大きい」のCMが評判の安達祐実が映画初出演。フレッシュな演技が期待される。他、伊武雅刀、山崎裕太、常田富士男、平田満、草笛光子などバラエティーにとんだキャストが色を添える。

恐竜と少女の心の触れ合いを描いた SF ファンタジー映画「REX・恐竜物語」は、夏休みに親子揃って楽しめる素敵なファミリー映画である。世界的な恐竜ブーム、自然保護ブームの中、93年は日本中に「REX」旋風が吹き荒れる。文字通り、90年代の「E.T.」と呼ぶにふさわしい作品と言える。

製作・監督は角川春樹

出版・音楽とリンクした映画作りで、日本映画界に新風を巻き起こしたマルチメディア・プロデューサー。会社社長・俳人と多くの顔を持ち、それらを取り入れた独特の演出とプロデューサーの才覚を持つ監督でもある。「汚れた英雄」「愛情物語」「キャバレー」「天と地と」に続き、5作目にして、初のファミリー映画に意欲満々の角川春樹。構想8年、製作費20億をかけるこの超大作を手掛ける。



原作は“ムツゴロウさん”畑正憲

「ムツゴロウさん」の愛称で知られる我が国動物文学の第一人者。動物に対する真摯で愛情溢れる内容と文体は、子供から大人まで幅広いファンがいる。北海道・釧路の無人島に作られた、動物王国はあまりにも有名。68年日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。77年菊池寛賞を受賞。「恐竜物語・奇蹟のラフティー」(S59～S61「野性時代」連載)は、7千万年前の卵から恐竜を孵化させるという壮大なロマンを描きながら、現代社会を風刺し読者の絶賛をあびている。「ムツゴロウ」ファン待望の映画化である。

主演は「TVCMの人気モノ」安達祐実

オーディションにより選ばれた、ハウス食品「カレー工房」のCM「具が大きい」で一躍注目をあつめた「あの子」。「日本一忙しい小学生」とさへ呼ばれる人気者である。1981年、東京生まれの11才。TBS「学校があぶない」、CX「わがままな女たち」などのドラマの他、TBSラジオ・レギュラー番組「安達祐実のおしゃまな夜」がある。クラスで前から2番目という小柄な体だが、人一倍おおきなひとみが印象的。映画初出演であり、フレッシュな演技が期待される。

恐竜製作は「E.T.」の生みの親カルロ・ランパルディ

「未知との遭遇」の異星人、「エイリアン」のモンスター等を創造したイタリアの彫刻家。その斬新なデザインは、限りなく生物に近い生命感を持つと同時に優しさ・愛らしさ等の感情をかきたてる。「キングコング」「E.T.」は世界中に感動の嵐を呼んだ。世界最高水準の SFX 技術を傾注して3体(製作費6億)のロボット「REX」を完成。その驚くほど精巧な動きと愛らしいキャラクターが日本中に「REX」旋風を巻き起こすであろう。

主題歌は米米 CLUB

1981年秋、カールスモーキー石井、ジュームス小野田、ボンを中心に米米 CLUB を結成。アートの表現手段としてライブ活動を選択した彼らは、エンターテインメント・ショーを積極的に取り入れ圧倒的な人気を博す。1990年「浪漫飛行」はミリオンシングルとなった。1992年「君がいてだけで」はオリコン史上週間最高得点を記録。ゴールドディスク大賞、グランプリシングル賞を受賞。ライブビデオ「米米 CLUB 大全集」は、94万本を売り上げ、その人気の高さを示す。映画音楽を初めて手掛ける米米 CLUB の主題歌は観客を魅了するであろう。

7月3日(土)お大公開!

特別鑑賞券(一般¥1400/学生¥1200/¥小人800
ペア券¥2600/親子券¥2000)発売中

地下鉄東銀座駅下車・松竹セントラル1 横

松竹セントラル2

03(3541)1786